

# 一般質問 (要旨) 市政の内容を聞く



★…一問一答方式

- 1 伊藤 大輔 (民主・市民フォーラム)
  - ①「選ばれたまち」をめざして
  - ②いじめ問題について
  - ③特別支援教育について
  - ④交通安全対策について
- 2 若木 早苗 (日本共産党)★
  - ①米軍横田基地へのオスプレイ配備について
  - ②ごみ減量の取り組みと地域の課題について
- 3 大石 ふみお (民主・市民フォーラム)
  - ①防災対策について
  - ②健康対策について
  - ③子育て支援について
  - ④公園について
- 4 中町 聡 (日本共産党)
  - ①LGBTについて
  - ②部活動の支援について
  - ③安全な道路交通対策について
- 5 梅田 春生 (民主・市民フォーラム)
  - ①小学校の学区の見直しについて
  - ②公園の遊具について
- 6 太田 光久 (民主・市民フォーラム)
  - ①地域包括ケアシステムの構築について
  - ②障害者差別解消法について
  - ③生活保護制度について
  - ④交通対策について
  - ⑤学校特別教室のフラー設置について
  - ⑥競輪事業の推進について
  - ⑦オスプレイの横田基地配備について
- 7 安東 太郎 (たちかわ自民党・安進会)
  - ①ららぽーと開店に伴う交通対策について
  - ②災害時のオストメイト支援について

- 8 江口 元氣 (たちかわ自民党・安進会)
  - ①今後の防災体制について
  - ②市財政について
  - ③落書きについて
- 9 福島 正美 (公明党)
  - ①自治会への加入と参加を応援する条例の制定について
  - ②高齢者居場所カフェの創設を
  - ③コンベンションシティ立川を目指す取り組みについて
  - ④西国立駅西地区地区計画について
  - ⑤羽衣町のまちづくりについて
- 10 永元 須摩子 (日本共産党)
  - ①介護保険法などについて
  - ②国民共通番号制度について
  - ③住宅施策について
- 11 浅川 修一 (日本共産党)★
  - ①オリンピック・パラリンピックについて
  - ②公園・道路・公共施設の整備について
  - ③行財政問題について
  - ④小学校の英語教育について
  - ⑤公共施設の外国語表示について
- 12 高口 靖彦 (公明党)★
  - ①東京オリンピック・パラリンピックについて
  - ②障がいのある人たちのアート展について
  - ③コミュニティ・スクールについて
  - ④18歳選挙権について
- 13 松本 あきひろ (たちかわ自民党・安進会)
  - ①自転車事故減少対策について
  - ②地域防災について
  - ③豊かな水と緑の保全について
- 14 瀬 順弘 (公明党)★
  - ①災害時の協定について
  - ②学童保育所入所申請の要件について
  - ③図書館資料受け渡しカウンターについて
  - ④ESD (持続可能な開発のための教育)の推進について
- 15 門倉 正子 (公明党)
  - ①災害に強いまちづくり
  - ②子育て支援の充実
  - ③特別支援教育について
  - ④西砂町・一番町地域の課題について

- 16 大沢 純一 (公明党)★
  - ①障がい者に対する行政窓口のワンストップ対応について
  - ②依存症対策について
  - ③若者の住宅対策について
- 17 山本 みちよ (公明党)
  - ①市民力を活かし、「支え合う地域」の構築を目指して
  - ②自転車を活かしたまちづくりについて
  - ③若葉町のまちづくりについて
- 18 上條 彰一 (日本共産党)★
  - ①平和を守る地方自治体の役割について
  - ②市民の暮らしと福祉を守る姿勢について
  - ③医療保険制度の改善について
- 19 谷山 きょう子 (立川・生活者ネットワーク)★
  - ①18歳投票権を見据えた「主権者教育」について
  - ②放課後の子どもの居場所について
- 20 中山 ひと美 (たちかわ自民党・安進会)
  - ①まちづくりについて
  - ②教育行政について
- 21 稲橋 ゆみ子 (立川・生活者ネットワーク)★
  - ①マイナンバー制度について
  - ②空き家活用に向けた今後の展開について
  - ③武蔵砂川のまちづくりについて
- 22 佐藤 寿宏 (たちかわ自民党・安進会)
  - ①五日市街道砂川二番 三番の砂川分水について
  - ②国民健康保険事業について
  - ③学校給食の食物アレルギーについて
- 23 大沢 豊 (緑たちかわ)★
  - ①生活困窮者自立支援法が始まってからの事業展開
  - ②防災訓練について
  - ③学校でのLGBT対応について
  - ④行政への提出書類の男女記載について
  - ⑤電力自由化に向けた効果的な電力購入について
  - ⑥住宅マスタープランについて

### オスプレイ配備撤回を求めるべき

周辺5市1町で対応していく  
若木 早苗 (日本共産党)

**問** 平成25年に横田基地周辺の5市1町からなる横田基地周辺22オスプレイの配備撤回を求めましたが、何の説明もないまま、先日突然配備決定の通達がありました。CV-22は特殊作戦機であり、危険度の高い訓練も行われます。横田基地が特殊作戦の拠点として強化されることを見越すわけにはいきません。市はオスプレイの危険性を認識し、断固配備撤回を求める姿勢で取り組むべきです。

**答** CV-22オスプレイの横田基地配備については、外務省及び防衛省より説明を受けましたが、十分だとは考えていません。安全性を確保できなければ認められないという姿勢は変わりませんが、安全保障の問題は国の専管事項であり、接受国通報という点で、配備撤回は要請できないと認識しています。引き続き国に対し、5市1町で連携し、住民の安全性の確保、不安の払拭、迅速かつ正確な情報提供に関して要請を行ってまいります。

### 上水北通り線、自動車減速のための対策を慎重に検討したい

伊藤 大輔 (民主・市民フォーラム)

**問** 国土交通省は幹線道路とは別に、生活道路を中心に安全対策について調査し、今後自治体へ対策を促していくという報道がありました。交通安全確保の観点から、市内の課題について、国の動向を踏まえた市の取り組み状況を伺います。また、上水北通り線の減速対策について、見影橋は南北の道が直結する四つ角の交差点で交通量が多いうえ、夜は見えにくいため、ランプに加え、一時停止線をつくらなどを検討できないでしょうか。

**答** 歩道の拡幅や段差の解消、点字ブロックの設置などを計画的に進めるとともに、地域の要望等に基づきカーブミラーや区画線等の設置により、安全確保に努めています。上水北通り線の車両速度の抑制策は、現在の路面標示等のほか、車道の一部を狭くする、ランプ(かまぼこ状の突起)の設置などが考えられますが、道路の構造を変えることで交通事故を誘発するおそれもあり、設置の可能性も含め、交通管理者と協議し慎重に検討したい。

### 性的マイノリティーの子どものために 相談体制の支援を進める

中町 聡 (日本共産党)

**問** 文科科学省は、幅広い性的マイノリティーの子どもについての配慮や相談体制の充実を求める通知を出しました。学校は児童生徒の事情に応じた対応をすべきだと、複数の教員や教育委員会、医療機関と連携して対応できるよう、サポートチーム設置などの対応が求められています。こうした対応は学校任せではできません。教育委員会として、相談窓口やサポートチームの体制について具体化する必要があると考えますが、見解を。

**答** まず教員がこの内容をしっかりと理解することが必要だと考えています。人権教育に係る研修を実施し、教員へ理解の徹底を図りたい。各学校において、いじめ防止対策委員会や相談の窓口などを設けており、これらの活用を含め、組織的にチームとしての対応を図っていききたい。学校任せにするのではなく、教育委員会事務局もあわせて、今ある組織の活用、さらに新しい体制の研究も含めながら、より一層の支援を進めていきたい。

### 感震ブレーカー・コンセントの普及推進を 広報や防災訓練の展示等で周知を図る

大石 ふみお (民主・市民フォーラム)

**問** 政府の有識者検討会は、大規模地震時の電気火災対策として、震度5で通電を遮断する感震ブレーカーや感震コンセントの設置を促す報告書をまとめた。阪神・淡路大震災では停電後の通電による火災発生が多く、市の防災計画でも「避難時においてはガス管の閉鎖、電気ブレーカーの遮断」とあります。減災対策に有効な感震ブレーカーや感震コンセントの普及に向け、周知や設置の補助事業をスタートさせるべきです。

**答** 地震時の火災のうち、阪神・淡路大震災では約6割、東日本大震災では6割強が電気火災だったといわれています。地震発生時の火災防止対策は必要だと考えており、市の地域防災計画にも、避難時の電気ブレーカー遮断の徹底などを記載しています。感震ブレーカー等については、まず広報や防災訓練などの展示などで周知を図ることが肝要かと考えます。購入時の補助制度については研究してまいります。